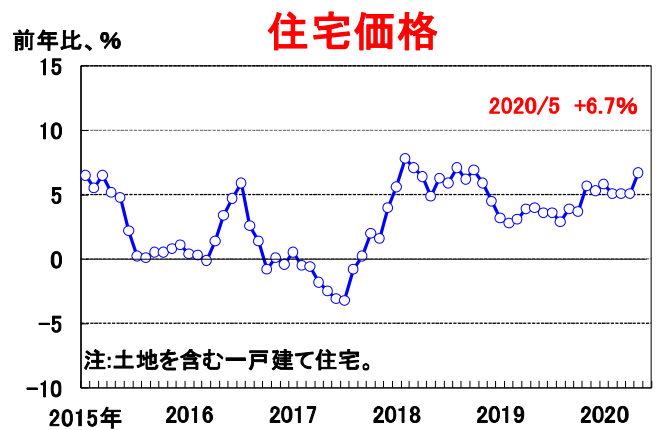
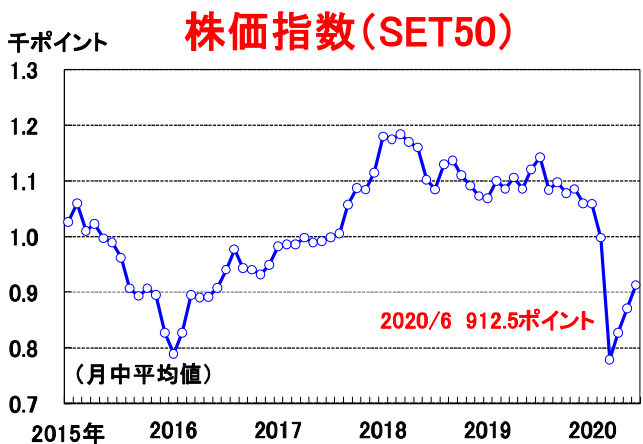
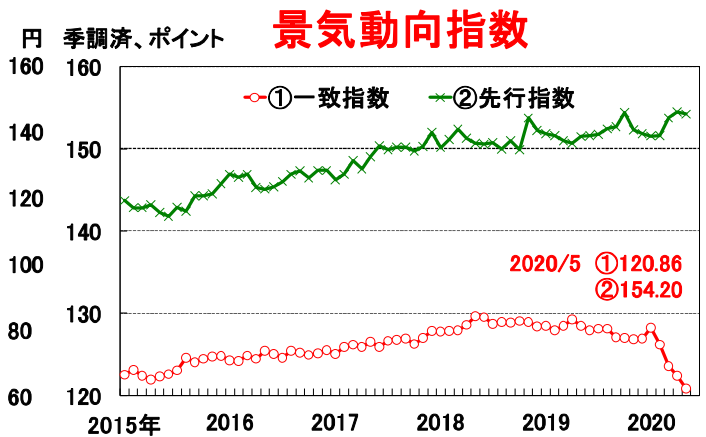
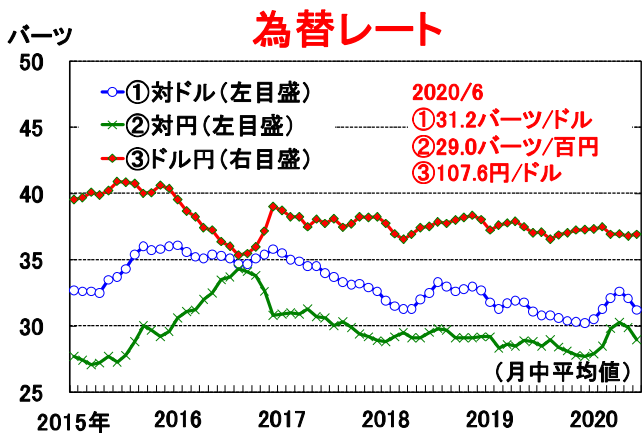
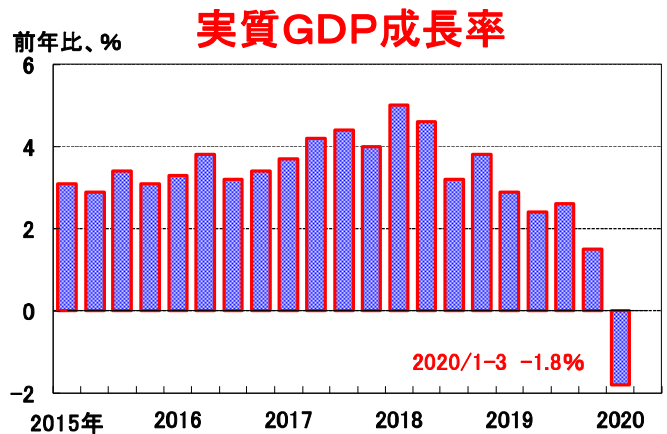
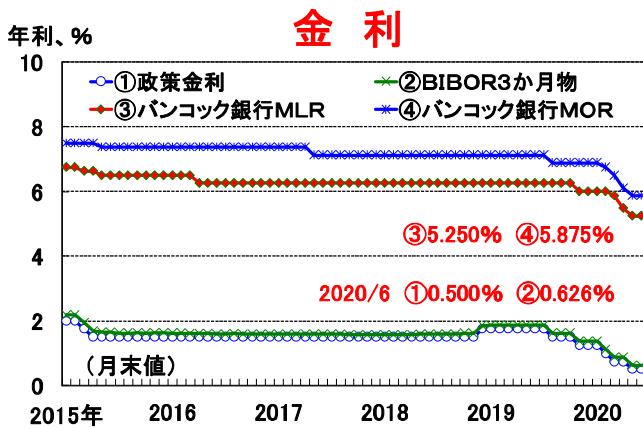


グラフで見るタイ経済 2020年7月号(No. 133)

タイ景気は新型コロナショックによる低迷状態が続き、厳しい状況にある。5月の指標をみると、工業生産指数は前月比-6.0%と3か月連続で大幅に落ち込み、主力産業である自動車の生産台数も前年比-69.1%と大幅な減産を継続している。外需をみると、新型コロナウイルスの世界的な流行を背景に、輸出は前年比-22.5%と大幅に落ち込んだ。内需に関しても、個人消費指数が120.2と前月に比べて若干上昇したものの、水準が依然として低い。商業施設の営業規制や国民の外出制限がいまだ完全には解除されていないことなどがその背景にある。

指標 判断 結果	【足元の景気判断】					
	景気全般	輸出	民間投資	個人消費	鉱工業生産	企業景況感
	↓	↓	↓	↓	↓	↓

(注) 矢印は概ね3か月前との比較。青の矢印は改善を、赤の矢印は悪化を、白の矢印は横ばいを表している。

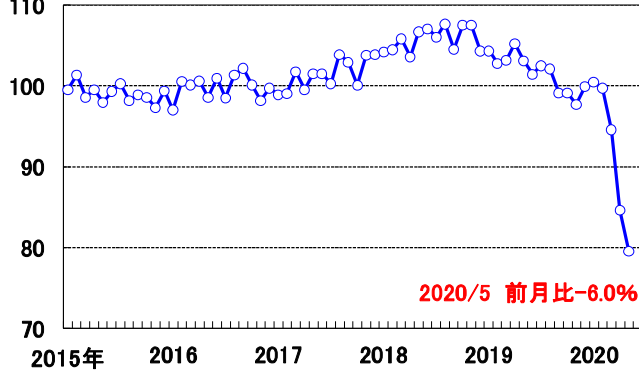


(出所) タイ中央銀行、タイ国家経済社会開発委員会 (NESDB)、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用にはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

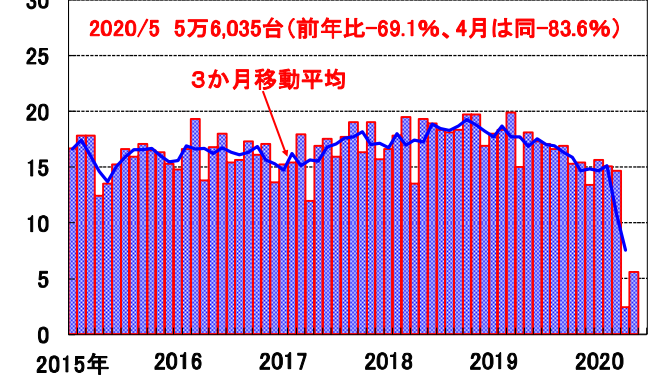
季調済
2016年=100

工業生産指数



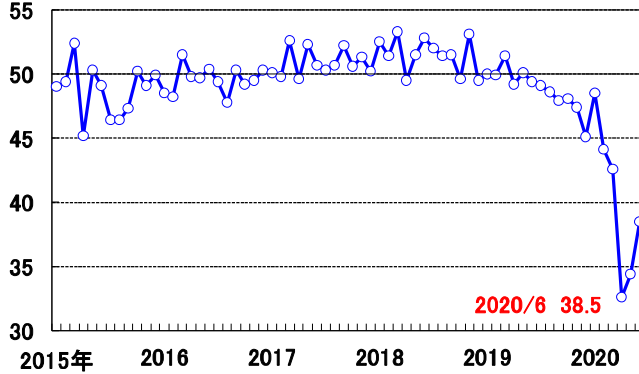
万台

自動車生産台数



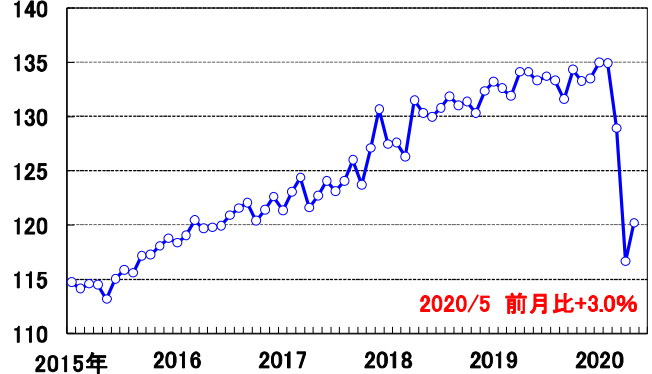
中立水準=50

企業景況指数(BSI)



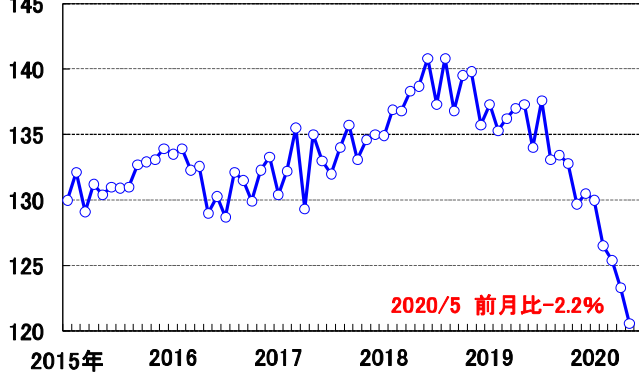
季調済
2010年=100

個人消費指数



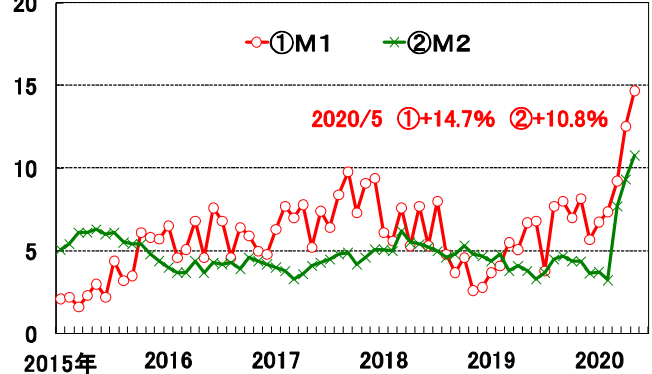
季調済
2010年=100

民間投資指数



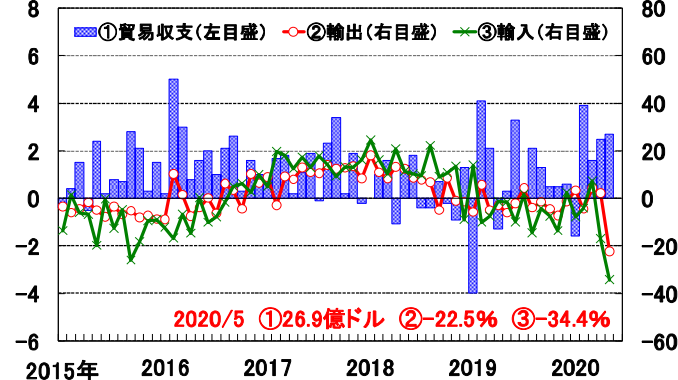
前年比、%

マネーサプライ



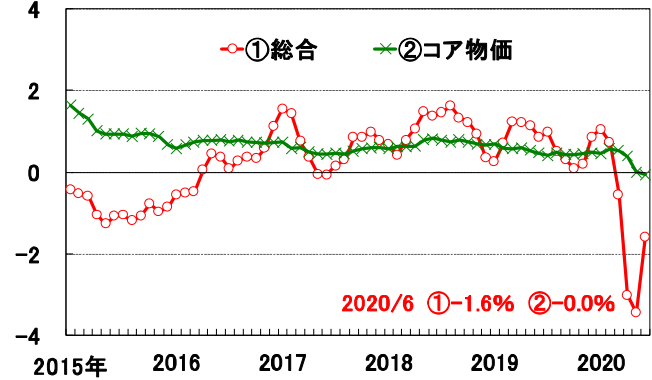
10億ドル

貿易収支



前年比、%

消費者物価指数



(出所) タイ工業省、タイ中央銀行、タイ国家統計局、タイ工業連盟 (F T I)

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。